

## キリングroup日本総合飲料各社<sup>※1</sup>で使用するすべての紙製の容器包装<sup>※2</sup>で 2020年末までにFSC<sup>®</sup>認証紙への切り替えを目指す ～「キリングroup CSVコミットメント」(2月13日発表)新たな取り組み第1弾～

キリンホールディングス株式会社(社長 磯崎功典)は、2020年末までに酒類、清涼飲料などの国内総合飲料各社において、紙製の容器包装に使用するすべての紙をFSC認証紙へ切り替えることを目指します。

※1 キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、メルシャン株式会社、キリン・トロピカーナ株式会社。

※2 限定商品、少量品種、特殊な形状、輸入品等を除く。

キリングroupでは、「キリングroup長期環境ビジョン」の中で、「水資源」「生物資源」「容器包装」「地球温暖化」の4つの柱を重要なテーマとして掲げています。今回のFSC認証紙への切り替えは「生物資源」と「容器包装」のテーマに該当し、容器包装の材料の持続可能性を高めることで、「持続的な生物資源使用、容器包装使用」を実現するための取り組みです。

キリングgroupでは、2013年に「キリングgroup持続可能な生物資源調達ガイドライン」および、日本国内における「紅茶」、「紙・印刷物」、「パーム油」の調達に関する行動計画を策定して取り組みを進めてきました。今回の取り組みは「紙・印刷物」の調達に関する行動計画で、新たにFSC認証紙の使用拡大を宣言する改定を行い、実行するものです。なお、事務用紙を始めとしたその他の紙についても、FSC認証を受けた紙や古紙を使用した紙などの使用比率の向上を目指します。「紅茶」および「パーム油」については、従来の行動計画で定めた取り組みを継続していきます。

### <FSCとは>

FSC (Forest Stewardship Council<sup>®</sup>、森林管理協議会)は、木材を生産する世界の森林と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証する国際的な機関です。その認証は、森林の環境保全に配慮し、森林のある地域社会の利益にかなない、経済的にも継続可能な形で生産された木材や紙に与えられます。

URL : <https://jp.fsc.org/jp-jp>

今後もキリングgroupは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンにかかわるすべての人々と共につないでいくために、さまざまな活動に取り組んでいきます。

### <参考>

キリングgroupの環境活動

<http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/>

キリンの環境への取り組み

<http://www.kirin.co.jp/csv/eco/>

添付資料：キリングgroup持続可能な生物資源利用行動計画・・・1枚

#### (本件お問い合わせ先)

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028

#### (お客様お問い合わせ先)

キリン株式会社 お客様相談室(フリーダイヤル) 0120-770-502  
キリンホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp>

## 【添付資料】

### キリングroup持続可能な生物資源利用行動計画

2013年2月制定

2017年2月改定

#### 1. 紅茶

キリン株式会社にて、以下の3段階のステップで調査を行い、毎年レビューを行いながら、持続可能性のレベルを向上させていきます

Step.1 購入先の紅茶農園を特定します。

Step.2 特定した紅茶農園の持続可能性<sup>※1</sup>を評価します。

Step.3 持続可能性の高い紅茶農園の茶葉使用を目指します。

#### 2. 紙・印刷物

キリン株式会社、キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、メルシャン株式会社にて、

事務用紙<sup>※2</sup>： 2020年末までに、FSC認証を受けた紙、または古紙を使用した紙100%使用を目指します。

容器包装<sup>※3※4</sup>： 1) 6缶パック：2017年末までに、FSC認証を受けた紙100%使用を目指します。

2) ギフト箱：2020年末までに、FSC認証を受けた紙100%使用を目指します。

3) 紙パック：2020年末までに、FSC認証を受けた紙100%使用を目指します。

4) 製品用段ボール箱：2020年末までに、FSC認証を受けた紙100%使用を目指します。

その他： FSC認証を受けた紙、FSC管理木材を原料とした紙、古紙を使用した紙、または環境面で保護価値の高い森林を破壊していない<sup>※5</sup>ことを調達先へのアンケート等によって確認した紙を優先的に使用します。

#### 3. パーム油<sup>※6</sup>

国内事業会社にて、一次原材料および二次原材料として使用しているパーム油について RSP0 (Roundtable on Sustainable Palm Oil、持続可能なパーム油のための円卓会議) によって承認されている認証証明取引プログラムである Book and Claim 方式を利用して対応します。

なお、パーム油の生産農園の特定や、十分な量の RSP0 認証パーム油が直接購入可能となった場合には、別途レベルアップした行動計画を策定することとします。

#### 注釈

※1 Step.2における紅茶の持続可能性は、レインフォレスト・アライアンス認証の取得状況で評価します。

※2 事務用紙とは、コピー用紙、封筒（定型外・一部の業務用を除く）、名刺、および会社案内等の印刷物とします。

※3 対象企業にはキリン・トロピカーナ株式会社を含みます。

※4 限定商品、少量品種、特殊な形状、輸入品等を除きます。

※5 High Conservation Value Forest: HCVF と呼ばれるもので、FSCの定義によるものとします。

※6 パーム油とは、アブラヤシ果肉から得られるパーム油およびその種子から得られるパーム核油を含みます。